

アクシアル リテイルング株式会社

CSR REPORT 2019



会社概要

【社名】

アクシアル リテイリング株式会社

【本部所在地】

新潟県長岡市中興野18番地2

【設立】

1967年8月

【資本金】

31億5,971万円

【事業内容】

スーパーマーケット事業を中心とした
企業集団の持株会社

【HPアドレス】

<https://www.axial-r.com/>

【グループ企業】

株式会社原信

株式会社ナルス

株式会社フレッセイ

原信ナルスオペレーションサービス株式会社

アクシアル レーベル株式会社

株式会社ローリー

株式会社原興産

株式会社アイテック

高速印刷株式会社

力丸流通サービス株式会社

株式会社フレッセイヒューマンズネット

高翔商事株式会社



129

店舗

2019年3月30日オープン



あさひおか
原信 エクスプレスマーケット旭岡店

2018年9月6日オープン



こいでひがし
原信 セントラルマーケット小出東店

富山県

北陸自動車道

上越チルドセンター

上信越自動車道

長野県

長野自動車道



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



本レポートでは、SDGs*の17の目標に関連する活動テーマにSDGsのアイコンを掲載しています。

目次

会社概要	1
グループ経営理念／ グループビジョン／営業概要	3
トップメッセージ	4
毎日の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを	5
物流ネットワークの構築	9
より便利なお買い物のために	11
地域の皆様とともに	12
コーポレート・ガバナンス	18
社員とともに	19
事業活動の環境負荷	25
レジ袋の3R	27
資源店頭回収とリサイクル	29
低炭素社会への対応	30
廃棄物の削減	31
環境会計	33
アクシアル リテイリングのあゆみ	34

編集方針

アクシアル リテイリングは、より多くの皆様から当社をご理解いただくため「CSRレポート」を毎年発行しています。本レポートは、主にSM（スーパーマーケット）事業を中心としたグループ各社の主な活動結果及び進捗を報告しています。なお今年度は当社の活動とSDGs（持続可能な開発目標）を関連づけました。

※SDGsとは、2015年に国連および日本政府が採択した先進国を含む国際社会全体の2030年に向けた環境・経済・社会についてのゴールです。

我々は毎日の生活に必要な品を廉価で販売し、
より豊かな文化生活の実現に寄与することを目的とする。

経営理念の実現に向かう具体的な方向性を示すため、グループビジョンを定めています。

アクシアル リテイリング グループビジョン

Advanced Regional Chain

アドバンスト

リージョナル

チェーン

お客様へチェーンストアとしての一層のメリットを提供できるよう、「強固で優良なリージョナル・チェーン※1」を目指し、邁進してまいります。

重点項目

①日本一のサービス

「判断の基準はお客様」を念頭に、お客様からご満足いただけるよう、基本の徹底4原則（明るく元気なあいさつ、清潔なお店、価格・鮮度・味の追求、品切れのない売場）についてレベルを向上してまいります。

②SSM※2 200店舗

チェーンストアとしてのスケールメリットをご提供するために必要な店舗数を、標準化された一定規模のスーパーマーケットによって作り上げてまいります。
併せて、メリットを引き出す物流やITなどの基盤整備を進めてまいります。

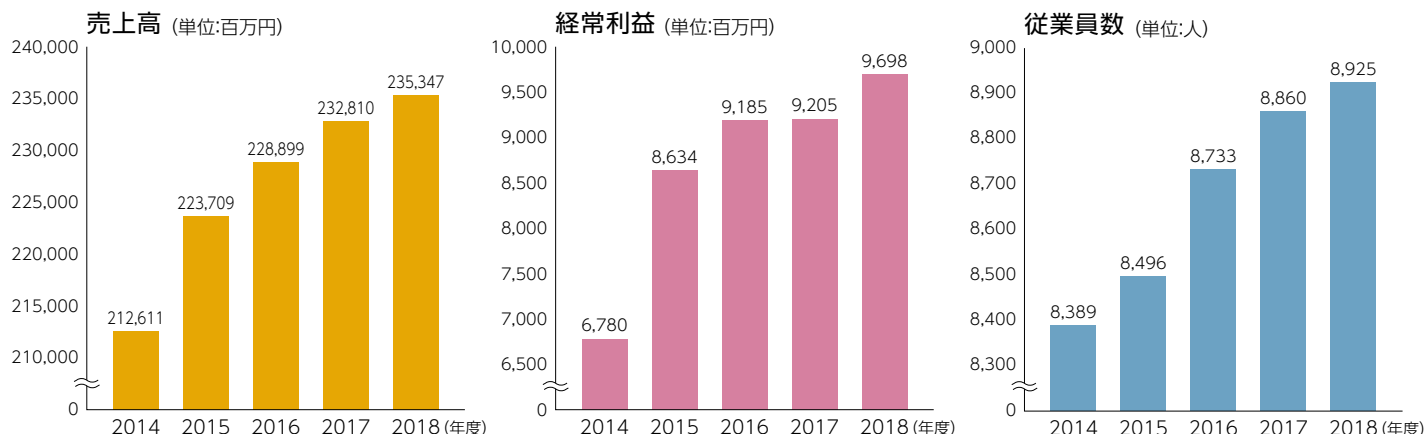
③信頼の構築

お客様、従業員、地域社会、お取引先、株主など、当社グループに関係するさまざまな人たちから信頼される企業風土づくりに努めてまいります。

※1 リージョナル・チェーン：一定数以上の店舗を出店している地域が2つ以上あるチェーンストア。

※2 SSM(Super Supermarket)：売場面積500～800坪のスーパーマーケットのこと。

営業概要



変化する時代の中で、今までになかったイノベーションを



元号が令和へと変わり、あらたな時代の幕開けとなりました。新時代到来への期待感の一方で、国際社会は混沌としています。さまざまな変化が起きているこのようなときこそ飛躍のチャンスでもあります。

チェーンストアとして時代の大きな変化に対応していくためには、一定以上の規模と物流、ITなどの機能の整備が不可欠です。そしてマスメリットを生み出す基盤づくりを、当社グループは総力を挙げ取り組む必要があります。

中期経営計画に基づき2018年には商品加工センターのローリー中之島プロセスセンターが稼働しました。製造から販売までのコールドチェーンが実現し、新たにグループ全体へ商品を供給することによりマスメリットを創出しています。

新たな店舗フォーマットの開発もすすめています。2018年に、小商圈での成立をめざした「エクスプレスマーケット」を開店、2019年3月には2号店となる原信旭岡店をオープンいたしました。「セントラルマーケット」原信小出東店においては、専門性と情報発信、ライブ感を重視した店づくりにトライしています。

「健康」をキーワードに、新たな価値をもつ商品開発を強化しています。野菜をたくさんとっていただける「365×3 サラダライフ」、調理済みのおいしい魚をご提供する「魚菜屋^{うおさいや}」、だしの旨味で塩味を抑えた「だし香る」シリーズの商品は、お客様から多くのご支持をいただいています。ご家庭に、より本格的でおいしい商品をリーズナブルな価格でご提供することで、豊かさを実感していただこうとしています。

AI、5G、IoT、無人化、キャッシュレス化、無人配送など、新たなテクノロジーの進歩は、今以上に進化を加速させていくものと予測され、お客様のお買い物の利便性を高めるチャンスと捉えています。

そしてHACCP^{ハサップ}に沿った衛生管理の制度化や食品表示法への対応も、お客様がより安心して商品をお買い求めいただけるよう取り組みをすすめています。また正しい労務管理の徹底や有給休暇の取得率向上など、すべての従業員が活躍できる働きがいのある職場環境の整備には、以前より真摯に取り組んでまいりました。今後も引き続き注力してまいります。

さらに廃プラスチックによる海洋汚染が深刻になる中、レジ袋を含むプラスチック容器包装の総合的な抑制に取り組めます。

これまでの当たり前が当たり前ではない今、社会が抱えるさまざまな課題に対応することは、社会への貢献や地域の信頼につながり、新たなイノベーションを生み出すことにつながります。変化に対応しながら「判断の基準はお客様」という姿勢で、これからもお客様から信頼され、必要とされ続ける企業グループを目指してまいります。

この度、「CSRレポート2019」を発行いたしました。皆様からのご理解やご支援を賜りますようお願い申し上げます。

アクシアル リテイリング株式会社
代表取締役社長

原 和彦

毎日の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを

ニューコンセプトⅡ+ (ツープラス)

原信とナルスでは、お客様の環境変化に合わせて2010年から「ニューコンセプトⅡ」として①新しい商品・売場展開 ②あかめけた売場 ③生産性の向上をテーマに掲げたお店づくりを開始し、2015年からは更なる「豊かさ・楽しさ・便利さ」をご提供する「ニューコンセプトⅡ+」の展開を推進しています。

食生活の多様化に合わせたサラダ提案の充実や、健康ニーズに沿った魚惣菜の提案など、食卓をイメージしやすいように食シーンに合わせた売場づくりに取り組んでいます。



セントラルマーケット

CENTRAL MARKET

セントラルマーケットは①専門性 ②ライブ感 ③情報発信をコンセプトにしています。最新の商品政策について、店舗でさまざまな実験を行うことで、お客様に新たな提案をするとともに、お客様からご支持いただいた提案は既存店への導入も図っています。



365 Side dish～毎日の食卓に彩りを～



作業室が見えるライブ感と開放感



肉のてっぱん屋～鉄板ライブ販売～



コミュニティスペース～料理教室などの開催～



とろぷり～自家製店内加工プリン～

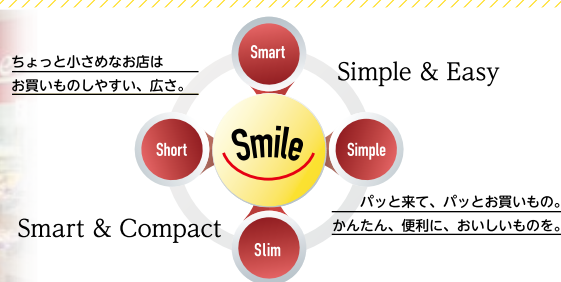


Relax time～デザートを集約～



エクスプレスマーケット

地域に、より多くの店舗を出店するにあたり、狭い商圈に対応するための小商圈型店舗フォーマットです。パッと買い物ができるお店、そして即食・簡便需要に対応した商品の品揃えをすすめるなど、新たな店舗フォーマットとして実験を重ねています。



惣菜を中心とした即食の充実



Pa!とプライス
～普段使いの品はより安く～



パッとデリ～電子レンジで調理できる簡便商品～



パッとクック～フライパンで調理できる簡便商品～

毎日の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを

健康・簡便ニーズへの取り組み

原信とナルスでは「健康」と「簡便」に対する需要の高まりに合わせ、ニーズに対応したオリジナルの商品開発を進めています。



365 × 3
salad life

「食卓に、もっと野菜を。」
365日朝昼晩にサラダの
ご提案。



店内調理
魚菜屋

旬の魚介を店内調理で
ご提供。



「おいしいわけ」の取り組み

「おいしいわけ」の商品とは、「おいしく」仕入れ、「おいしく」作り、「おいしさ」を伝えるというコンセプトのもと、当社が開発し、自信を持ってお客様におすすめする商品です。



アクシアルブランド商品 (プライベートブランド商品)

プライベートブランド商品は、よりよい品物を、よりお求めやすい価格でご提供するために、お客様の声を基にした企画・開発を行っています。また事前に委託製造工場の調査を行い、安全性基準を満たしたメーカー様に委託しています。



アクシアルブランドの商品

2018年度 商品回収事例

お客様には多大なご迷惑をお掛けいたしましたことを心よりお詫言申し上げます。今後このような事態が発生することがないように、品質・表示管理を徹底してまいります。

- | | | |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・「うどんセット(天重)」のアレルゲンと原材料名表示違反(原信花園店) ・「天ぷらセット」のアレルゲン表示と原材料名表示違反(原信シビックコア店) | <ul style="list-style-type: none"> ・「アクシアル 国産野菜使用福神漬」で国産でないゴマの使用(全店舗) ・「旨さ広がる天重」のアレルゲン表示と食品添加物表示違反(原信・ナルス18店舗) | <ul style="list-style-type: none"> ・「野菜deちよいしお 豆腐ハンバーグ弁当」のアレルゲン表示と原材料名表示違反(原信南万代店) |
|--|--|---|

物流ネットワークの構築

アクシアル リテイリングでは、新潟県長岡市と上越市、群馬県前橋市にチルドセンター、物流センターを設置しています。

近年新設したフレッシュ前橋物流センターの運営が軌道に乗り、さらにロジスティックス全体のレベルアップによって店舗の品切れ削減、在庫の適正化が進みました。



上越チルドセンター
[2008年7月稼働]



前橋物流センター
[2016年10月稼働]



中之島DC※
[2013年10月稼働]
中之島チルドセンター
[1996年4月稼働]

※DC：ディストリビューションセンター。在庫型物流センターのこと。

新設
**ローリー中之島
プロセスセンター**
[2018年8月稼働]

2018年8月、ローリー中之島プロセスセンターが稼働しました。既存の原信中之島チルドセンターの一部改装と増築により、今までの約3倍の広さ(5,306㎡)となりました。ここでは精肉部門、水産部門、ベーカリー部門の一部商品を集約して製造しています。



ローリー中之島プロセスセンター

メリット①

店舗作業の削減と付加価値商品作りの支援

プロセスセンターからの供給量を増やし、店舗の商品製造を削減しています。そして納品に使用するトートボックスをカート配送に変更しました。これにより、今までの積み上がったトートボックスから商品を取り出し陳列する場合に比べ、作業が効率化できました。

これにより削減された労力を、加工度の高い差別化商品の品揃えに投入するとともに、生産性の改善をすすめていきます。



カート配送による陳列作業の効率化

メリット②

供給数量の拡大

供給数量は精肉部門で稼働前の約3.4倍に拡大しました。また新しくベーカリー部門でも供給を開始しました。精肉部門商品とベーカリー部門商品は上越チルドセンターと前橋物流センターにも供給をしています。



前橋物流センターへの商品供給

ローリーで製造する商品(代表的なもの)

〈精肉〉



豚肉切り落とし



豚肉超うす切り肉



豚肉うす切り肉

〈水産〉



生たこスライス



鯛太刀物

〈ベーカリー〉



冷凍玉生地



コッペパン



精肉部門の高速切り落としスライサー作業



水産部門の高速包装機での包装作業



ベーカリー部門の冷凍玉生地製造作業

より便利なお買い物のために



アクシアルタウン

アクシアルタウンは、実店舗の商品ご予約とインターネットショッピングが一つのサイトでお申し込みいただけるサービスです。

パソコンやスマートフォンから、季節のギフトや実店舗でご予約を承っている恵方巻、クリスマスケーキなどをご注文いただけます。



アクシアルタウンのご利用については
WEBをご覧ください。
<https://netshop.axial-r.com/>



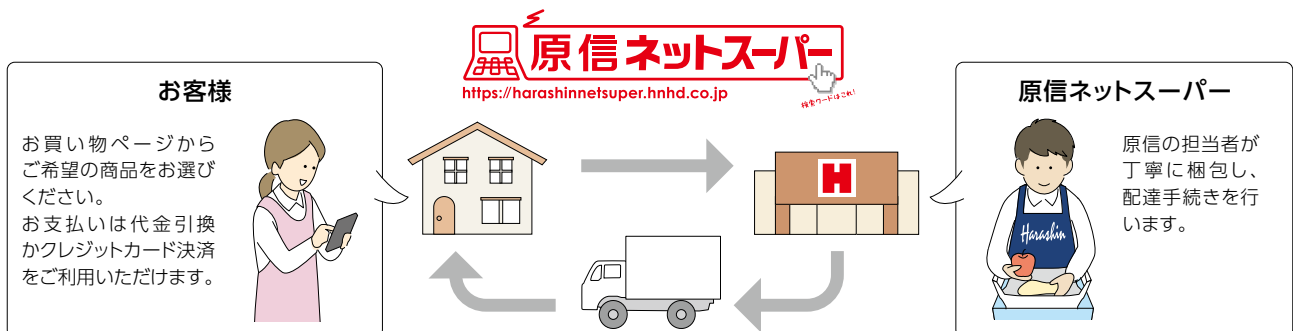
原信ネットスーパー

お店にある商品をインターネットからご注文いただき、ご自宅にお届けするサービスです。「原信ネットスーパーStandard」は、当日午前10時までのご注文で、当日中に商品をお届けし、代金のお支払いには代金引換とクレジット決済がご利用いただけます。

2018年9月からは、大容量サイズやまとめ買いをされるお客様向けに「原信ネットスーパーPRO」を開設しました。前日午前11時までのご注文で、翌日に商品をお届けいたします。また代金の支払いには、口座引落もご利用いただけます。



原信ネットスーパーのご利用については
WEBをご覧ください。
<https://harashinnetsuper.hnhd.co.jp/>



宅配ロッカーの設置

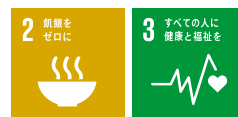
店舗をご利用になるお客様の利便性向上を目指し、オープン型宅配便ロッカー「PUDOステーション」をアクシアル リテイリングの一部店舗（原信12店舗、ナルス2店舗、フレッセイ32店舗）店頭に設置しています。

宅配便をお受け取りになるお客様が、ご自宅で荷物を受け取ることが出来ない場合に、受け取り先として本ロッカーを指定することで、24時間または店舗営業時間中、お客様のご都合の良い時間に荷物を受け取ることができます。



PUDOステーション

地域の皆様とともに



減塩運動「ちょいしおプロジェクト」の商品開発・販売

原信とナルスでは、新潟市の減塩運動「ちょいしおプロジェクト」に参加し、新潟県立大学健康栄養学科の学生の皆様と一緒に、「野菜たっぷり」「塩分控えめ」の弁当と丼を共同開発し、期間限定で販売しました。



つくね生姜丼



豆腐ハンバーグ弁当



開発に携わった学生の皆様

高校生との商品開発・販売

第25回群馬県産業教育フェアにて、商業を学ぶ県内高校生の職業教育の一環として、前橋商業高校3年生の皆様とフレッセイが共同開発したアイデア商品「たこ焼き風おにぎり」のPRを行いました。商品は、フレッセイ全店舗にて期間限定で販売しました。



たこ焼き風おにぎり



開発に携わった生徒の皆様

『弁当の日』活動支援

原信では「子どもが作る『弁当の日』」、フレッセイでは「やってみよう!自分で作る弁当の日inぐんま」の活動を応援しています。活動の一つとして、地域の小学校と連携した親子調理教室や魚の下ごしらえ教室、またお買物講座やスーパー探検ツアーを通じた弁当作りを実施しました。

今後も調理を通じて「食の大切さ」「感謝のこころ」を醸成することで、地域貢献のお手伝いと『弁当の日』の取り組みを推進していきます。



親子調理教室



スーパー探検ツアー

「こども食堂」のお手伝い

孤食を防ぐための取り組みとして長岡市が推進している「こども食堂」の活動が地域で広がっています。原信では、宮内店、美沢店、花園店、城岡店で、4つの団体を支援しています。



宮内銀河食堂様



メニューの一例

地域の皆様とともに

子育て支援事業への協賛

アクシアル リテイリングでは、自治体や民間団体が発行する子育て支援カードを決められた曜日にご提示いただくと、お買い上げ金額の5%割引するサービスを実施しています(一部店舗を除く)。

また、原信とナルスでは全国共通子育て支援マークのあるカードのご提示でクーポンをお渡ししています。



全国共通子育て支援マーク



各自治体の子育て支援カード



トキっ子くらぶ 原信・ナルスクーポン

高齢者支援

アクシアル リテイリングでは、各地域で65歳以上のお客様への特典サービスを行っています。

原信では毎週木曜日と年金支給日にお買い上げ商品の本体価格合計から5%を割引く「いきいきシルバースデー」、ナルスでは年金支給日に「シニアポイント5倍デー」を行っています。

またフレッセイの桐生・沼田地区の店舗では、毎週火曜日に「ぐーちょきシニアパスポート5%引きの日」を開催しています。



いきいきシルバースデー
(原信)



シニアポイント5倍デー
(ナルス)



ぐーちょきシニアパスポート
5%引きの日
(フレッセイ桐生・沼田地区店舗)

フォトコンテスト

原信とナルスでは、お客様に参加いただく企画として、インスタグラムを利用したフォトコンテストを開催しました。



フォトコンテスト(おはぎ)ポスター・受賞作品



フォトコンテスト(ハロウィン)ポスター・受賞作品



原信サマースカラシップ

原信を育てていただいた地域の皆様のお役に立つことで恩返しをしたいという思いと、より多くの若者が異文化に触れ視野の広い人間に育ってほしいという願いから、1991年より原信サマースカラシップが始まりました。

このプログラムは、長岡市と姉妹都市であるアメリカ・テキサス州フォートワース市の高校生と長岡市の高校生が、夏休み中に互いにホームステイをし、互いの文化を体験する活動です。

2018年度で27回目を迎え、参加者は540名(引率含む)を超えました。



長岡の歴史を学習



浴衣姿で長岡祭りに参加



剣道体験

高校生の職場体験

アクシアル リテイリングでは市町村や各学校様と連携し、各お店で職場体験の受け入れを行っています。普段はお客様として利用するお店での作業を体験することで、働くことの楽しさや難しさが実感できる場を提供しています。実習後には「進路を考えるきっかけになった」との声が寄せられています。



商品陳列作業体験

インターンシップ

アクシアル リテイリングでは、仕事の体験を通じて当社の社会的役割を伝え、チェーンストアづくりの魅力を知っていただくことを目的に、大学生インターンシップの受け入れを行っています。

夏季は10日間、冬季は5日間のプログラムに加え、2ヶ月の長期インターンシップや1日参加のプログラムなども実施しました。店舗作業のほか、商品開発の知識を学び、物流センター見学や秋をイメージしたサラダ提案なども行いました。



商品開発知識の学習

地域の皆様とともに

ウォーキングデーの開催

原信とナルスでは、お客様の健康を「食事」の面だけでなく、「運動」についてもサポートすることによって、より健康的な暮らしに寄与することを目的に、「原信・ナルスウォーキングデー」を開催しています。2018年度は852名の皆様が参加しました。



ウォーキングデーのようす

思いやり駐車場への共感看板設置

2017年5月より、フレッセイでは、思いやり駐車場に実際の車いすユーザーの方などの写真にメッセージを入れた共感看板を設置しております。

これは群馬県では初めての取り組みとなり、思いやり駐車場の利用が必要な方が駐車しやすくなったことから、21店舗に54台設置しました。また原信の一部店舗にも設置しました。



共感看板

ア・リトル・ステップキャンペーン

フレッセイでは、全店舗に募金箱を設置し、お客様からの善意の1円玉募金を実施しています。お客様からの募金にフレッセイからの寄付を加え、福祉車両や車いすなどを寄贈しています。

創業60周年となる2018年には群馬県に福祉車両を3台、栃木県足利市に車いす23台、佐野市に車いす12台、埼玉県本庄市へ車いす17台、深谷市のふっかちゃん基金に54万円を寄贈し、小学校のヘルメット購入に役立てられました。



福祉車両の寄贈



車いすの寄贈



ふっかちゃん基金への寄贈

義援金の寄託

アクシアル リテイリングでは、2018年7月に発生した西日本豪雨及び、同年9月に発生した北海道地震・台風21号において、被災された皆様の生活の早期復興に役立てていただくため、お客様よりご協力いただいた募金に当社から寄付を加え、それぞれ400万円、700万円を、株式会社シジシージャパン様を通じて被災地にお届けいたしました。

地域行事への協賛

アクシアル リテイリングでは、地域に根ざした企業としてそこで生活される皆様とのつながりを大切にし、さらなる活性化に貢献できるよう、出店地域を中心に各地のお祭りに協賛しています。

原信は、日本三大花火大会の一つである長岡まつり大花火大会において、慰霊、復興、平和の象徴として、正三尺玉三連発を打ち上げました。



正三尺玉三連発(合成写真)

「備災」の提案

アクシアル リテイリングでは災害時に最低限必要な備蓄商品や常備用品の提案と、災害時に必要な食品を日常生活の中で消費しながら買い足すサイクルの提案を行っています。

そして、中之島DCと前橋物流センターでは、在庫機能を活用することで、災害発生時にすぐに必要とされるペットボトル飲料水やパックごはん等をストックしています。



備災の取り組みのパンフレット



災害時用の飲料水・パックごはん

災害協定

アクシアル リテイリングでは、2018年に締結した新潟県魚沼市を含め14の自治体と災害協定を締結しています。また協定の有無に関わらず被災地に必要な支援を行います。

災害時における帰宅困難者支援

フレッセイでは群馬県との地域活性化包括連携協定の災害対策に関する共同取り組みとして、災害時に帰宅困難者に水道水、トイレ、交通情報の提供を行う「帰宅支援ステーション」に県内全店舗を登録しました。



災害時帰宅支援ステーション

フードバンクへの支援

原信ではNPO法人フードバンクにいがた様の団体会員として支援を行っています。また、関係する原信労働組合でもフードドライブ活動へ協力しています。

地域の皆様とともに



原信ナルス会

2018年10月に第12回原信ナルス会(会員346社)が開催され、当社の経営方針の説明と会員相互の情報交換が行われました。



原信ナルス会総会

フレッセイ共栄会

2018年5月に、フレッセイ共栄会を開催いたしました。元中国駐在特命全権大使の丹羽宇一郎氏をお招きし、「今後の国際情勢と日本の進むべき道」をテーマにご講演いただきました。



フレッセイ共栄会

公益財団法人 日本互尊社

原信が支援する公益財団法人日本互尊社は、1934年に野本互尊が唱えた互尊独尊の思想を後世に伝えようと設立され、如是蔵博物館等にて、河井継之助、小林虎三郎、山本五十六、斎藤博、小原直、水島爾保布といった長岡の先人達に関する貴重な資料の収集、保管、展示を行ってまいりました。

この度、管理・運営している如是蔵博物館の土地、建物、収蔵品等について、長岡市へ寄付申し入れを行いました。これは長岡市の人づくり・町づくり事業と一体化され活用されることによって、未来へ向けて、より大きな貢献を期待して行ったものです。



長岡市への寄付

公益財団法人 長岡社奨学会

原信は、新潟県教育振興や県民福祉増進への寄与を事業目的とする長岡社奨学会の運営を支援しています。長岡社奨学会では、新潟県出身の大学進学者のうち、学力優秀かつ奨学金希望者への学資の貸与または給付のほか、地域の文化・教育・スポーツ・国際交流等への資金援助も行っています。

基本的な考え方

アクシアル リテイリングのコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、意思決定の迅速化と透明性・公平性の確保を図り、責任体制を明確化するとともに、法令や社会的規範の順守及び内部統制システムも含めた企業倫理の整備に努めることです。

経営における最も重要な事項は、地域のお客様に反復継続して店舗をご利用していただけるかであり、常勤の取締役は日常的に販売現場の実態を正確に把握すべく活動し、お客様の変化にいち早く対応できるようにスリムでフラットな経営管理組織を構築しています。

現状のコーポレート・ガバナンス体制の概要

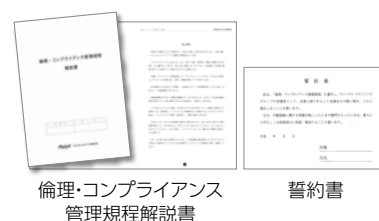
アクシアル リテイリンググループは持株会社体制をとっており、持株会社である当社を中心に各関係会社はその支配、管理下に置かれ、実際の事業を行う構成となっております。

このため、アクシアル リテイリングは、各事業会社の業務執行状況の監視を集約的に行い、アクシアル リテイリンググループ全体の企業統治体制の有効性を確保することを目的として、社外取締役の選任と監査役会設置会社の形態を採用しています。

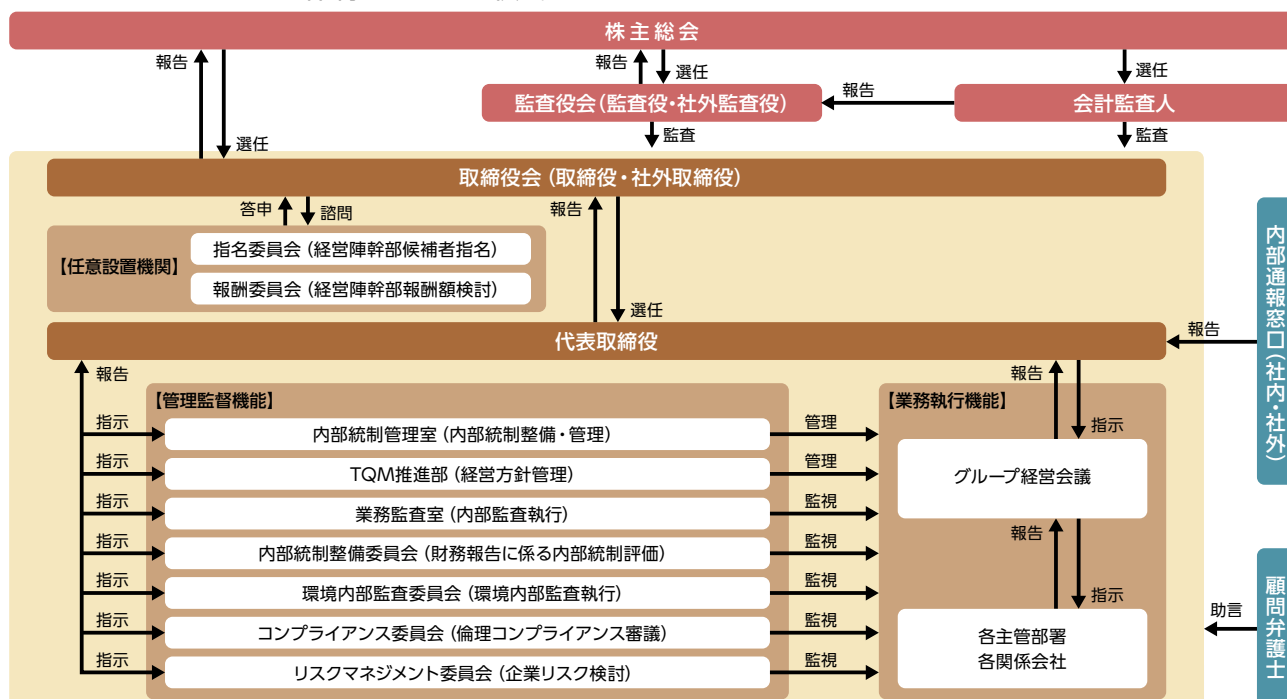
倫理・コンプライアンス

アクシアル リテイリンググループでは、お客様をはじめ、企業、団体、関係機関などから高く信頼され、永続的な発展を継続するための企業統治の確立を目的として、倫理・コンプライアンス管理規程の中に行動指針を定めています。

この内容は、具体的な解説を付け加えた倫理・コンプライアンス管理規程解説書として発行し、全従業員に配布、年に1回以上教育を行っています。



コーポレート・ガバナンス体制についての模式図



社員とともに

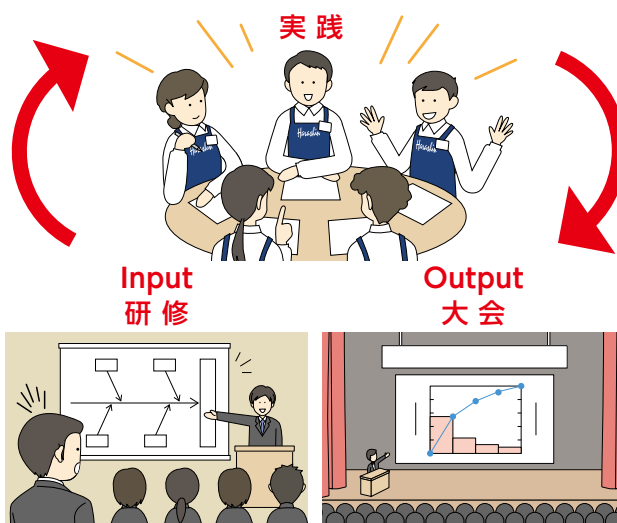
TQM(総合的品質管理)

アクシアル リテイリングは、経営の根幹としてTQM
トータル クオリティ マネジメント
(Total Quality Managementの略)を推し進めています。TQMは、経営理念実現のため、全員が一人ひとりの立場に応じてよりよい仕事を継続的に行うための仕組みです。

活動方法には、専門担当が個人で行う「SUM活動※1」と、小集団チームの「QCサークル」があります。

研修で手法を学び、大会での発表や見学を通じてレベルアップを図っています。

※1 Service(サービス) Up(アップ)のためのManagement
(マネジメント)活動の略: アクシアル リテイリング独自の用語



2018年度 TQM活動での表彰

TQMの継続的実践が、外部機関より評価されての受賞となりました。今後もお客様ご満足実現のため、取り組みを続けてまいります。



QCサークル経営者賞 [受賞者]代表取締役社長 原 和彦

QCサークル活動とSUM活動の実践により、お客様ご満足の実現に継続的に努め、QCサークル北陸支部(新潟、富山、石川、福井の4県)の役員幹事企業としてQCサークルの発展に尽くしたことが評価されました。

2000年にQCサークル経営者賞が創設されて以来、小売業では初の受賞です。



QCサークル経営者賞授賞式



QCサークル推進 石川馨賞※2 [受賞者]TQMCSR部 TQM推進室主任 外谷 真介(所属は受賞当時)

社内ではQCサークル活動の指導と手法の普及、社外はQCサークル北陸支部新潟地区幹事を務め、北陸支部幹事長、新潟地区幹事長に就任、QCサークルの発展に尽くしたことが評価されました。

※2 石川馨氏(1915～1989)は、日本の品質管理の先駆者であり、QCサークル活動の生みの親と言われています。



QCサークル推進 石川馨賞



JHS部門全日本選抜QCサークル大会 金賞

[受賞者]ナルス北城店「出来立て亭」サークル

2018年6月に開催された、第11回事務・販売・サービス部門全日本選抜QCサークル大会において、最高賞である「金賞」を受賞しました。

アクシアル リテイリンググループの金賞受賞は4年連続5回目です。



ナルス北城店「出来立て亭」サークル 金賞受賞

★ 群馬地区チャンピオン大会 県知事賞

【受賞者】「いたくらミート」サークル

2018年11月に開催された、第6085回QCサークル群馬地区チャンピオン大会において、フレッセイ板倉店畜産部門の「いたくらミートサークル」が最優秀賞にあたる群馬県知事賞をフレッセイとして初めて受賞しました。アクシアル リテイリングの一員となったことを機に再開したTQMの取り組みが順調に進んでいます。



群馬県知事賞受賞

+++++ 受賞者の声 +++++

大会に参加し、参考になる点が多くあったとともに、自分たちのさらなるレベルアップの必要性を感じました。リーダーとして率先して勉強し、お客様に喜ばれるよう、商品やサービスを磨いていきます。



フレッセイ 板倉店
畜産部門
金井 弘幸

選抜された事例の中から群馬県知事賞をいただき、驚きとともに活動が評価されたことを大変うれしく思います。これからもサービスアップのために取り組みを進めていきます。



フレッセイ 板倉店
畜産部門
染宮 順子

成功事例と改善事例

アクシアル リテイリングでは、店舗の従業員が売場づくりを工夫して取り組み、成果が上がった事例を「成功事例」と呼び、独自のシステムを使い、全店舗で共有する仕組みを整備しています。

同様に、より一層のサービス向上、より安全かつ効率の良い作業につながる工夫についても「改善事例」と呼んで共有しています。

共有することで、良い事例を1店舗だけのノウハウで終わらせてしまうのではなく、全店舗への水平展開につなげています。また、良い工夫に対しては評価、表彰することで、従業員のモチベーションアップにもつなげています。



関連会社の取り組み

TQMとISO27001 (情報セキュリティ) 株式会社 アイテック [情報処理及びソフトウェアの開発業務]

アイテックでもTQMを導入しており ISO27001に関する内容をQCサークル活動のテーマに取り上げて取り組んでいます。QCもISO27001もPDCAサイクルで問題点を改善し、よりよくしていくというプロセスが共通しているため、効率よく取り組みができます。毎年受審しているISO27001外部審査では、この取り組みが高い評価を得ています。

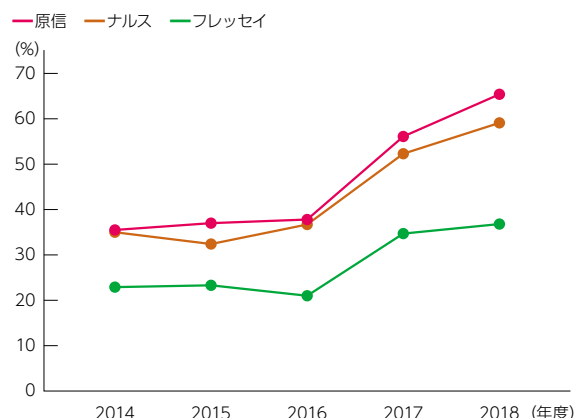
社員とともに

有給休暇の取得

原信とナルスでは、2018年10月から「半日有給休暇制度」を試験導入しました。個人の状況にあわせて1日と半日を選択できることで、さらに使いやすくなりました。

定例会議の頻度と参加人数の見直し、部署長による取得状況確認、人員不足時の応援体制構築も継続して実施しており、原信とナルスではレギュラー社員の有給休暇取得率が64.6%と昨年よりもさらに向上しました。

有給休暇取得率推移(レギュラー社員)



育児介護休業制度

原信とナルスでは、これから出産を迎える従業員向けに「出産・育児休業制度説明会」を開催しています。女性はもちろん積極的に育児に関わる男性の参加も増えています。

新しい家族を迎え、仕事と育児を両立している従業員の体験談発表や座談会も行っています。

2018年度には原信3名、ナルス1名の男性が育児休業を取得しました。



産休育休説明会

従業員の声

育児の喜びを実感

第2子が誕生してから約半年が過ぎ、育児にもっと協力したいと思い育児休業を取得しました。

男性社員が育児休業を取得した前例があったので、申請準備などスムーズにすすめることができました。子供と毎日一緒に過ごす、大変さと喜びを妻と分かち合うことができました。



ナルス 上越インター店 水産部門 大澤 寛

子供たちとの充実した時間

第1子で育児休業を取得して子供との多くの時間を過ごせ、子供の成長を実感することができ、第2子、第3子と育児休暇を取得しようと思いました。

家族の反応は、1年子供と一緒にいられるから安心して育児ができるね、と大好評でした。

育児休業を取得できた事で、子供との貴重な時間を過ごせたことに感謝しています。



フレッセイ クラシース新前橋店 チェッカー部門 林 しのぶ
(所属は取得当時)

にいがた子育て応援企業認定

新潟県は仕事と子育ての両立支援に積極的な企業の取り組みを支援し、社会全体で子育てを応援する機運の醸成を図ることを目的に認定制度を創設、2019年1月末時点で61団体が認定されています。原信とナルスは2017年6月に第1回認定企業として認定されました。

今後も従業員が仕事と家庭生活を両立するための支援を継続してまいります。



くるみん認定

次世代育成支援対策推進法にもとづき厚生労働大臣が企業に対して行う認定で、子育てサポート企業として2878社（2018年3月末時点）が認定されています。

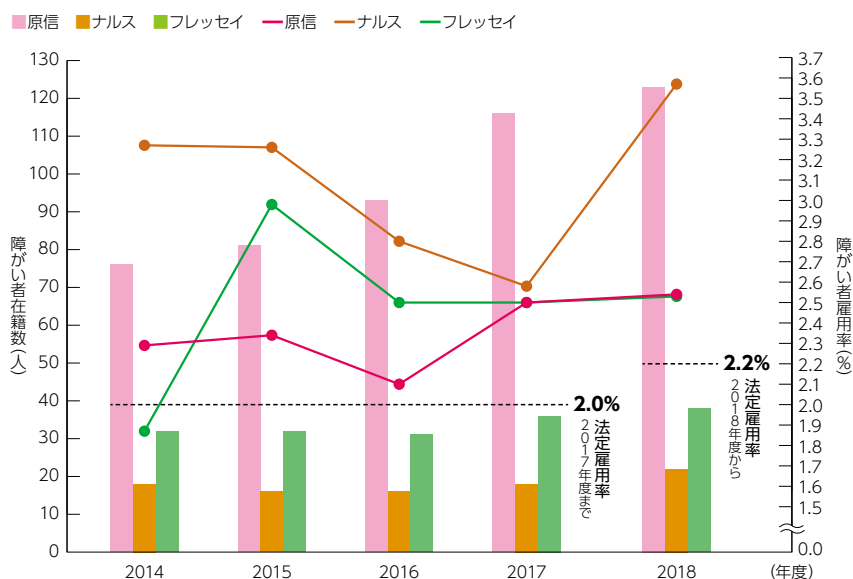
原信（2017年7月）、ナルス（2013年6月）が認定を受けています。仕事と子育てを両立する従業員が働きやすく、その能力を発揮できる職場環境整備のため、継続して取り組みます。



障がい者雇用

アクシアル リテイリングでは、障がいをお持ちの方も職業を通じて誇りを持ち、自立した生活を送ることができるよう、障がい者雇用に努めています。すべての事業所が物心両面での雇用環境整備を継続的・計画的に進めたことにより、雇用率は全事業会社において2.2%以上となっています。

障がい者在籍者数と雇用率の推移



関連会社の取り組み

地域と連携した障がい者雇用推進

フレッセイヒューマンズネットでは、障がいをお持ちの方に仕事を通じて活躍する機会を提供する事を目的として障がい者雇用に取り組んでいます。また、群馬県の障がい者雇用推進を目的とした、県の障害者就労サポーター企業制度に協力し、地域と連携した活動を行っています。

株式会社 フレッセイヒューマンズネット

〔特例子会社、障がい者の雇用・人材派遣〕



自動スライサーの操作



水産商品化作業

社員とともに

アシスタントチーフ制度

アクシアル リテイリングでは、定められた資格等級と技術レベルに到達したパートナー社員には、店舗での必要性和本人の意欲に応じて、アシスタントチーフ(部門責任者)としての活躍の場が用意されています。

Pick up	Pick up	Pick up
 原信河渡店 惣菜部門 アシスタントチーフ 加藤 ひとみ 〈2001年8月〉 河渡店入社 〈2006年9月〉 アシスタントチーフ着任 	 ナルス柿崎店 加食住居部門 アシスタントチーフ 大場 祥子 〈2008年10月〉 柿崎店入社 〈2017年3月〉 アシスタントチーフ着任 	 フレッセイ箕郷店 ベーカリー部門 アシスタントチーフ 山田 知佳 〈2007年3月〉 箕郷店入社 〈2017年10月〉 アシスタントチーフ着任 

レギュラー社員への転換

原信とナルスでは、パートナー社員からレギュラー社員への転換制度があり、フルタイム勤務ができます。2000年より制度の運用が開始され、これまで58名の方が転換しました。

従業員の声	
パートナー社員からレギュラー社員へ 仕事を通じて出来る事が増えたり、人として成長できたりすることにやりがいを感じ、レギュラー社員に転換を決意しました。 理想とするキャリアプランや将来のビジョンが明確に想像でき、生涯設計のできる職場で働けるところが最大の魅力です。 引き続き、お客様が安心して買い物ができる店舗運営に努めてまいります。	 原信 新通店 FES部門 渡邊 香菜

女性の活躍

アクシアル リテイリングの従業員は女性が8割を占めています。体力的な面で「男性しかできない」「女性だからできない」をなくすため、作業環境や機器を整え、男女共に仕事をしやすい環境を実現しています。

店長、チーフバイヤーなど女性管理職も誕生しています。女性ならではの“気づき”が商品や売場づくりに反映されています。2019年3月時点では11名が管理職として活躍しています。

全国チェッカーフェスティバル最優秀賞受賞

CGCグループ第9回全国チェッカーフェスティバルに、全国から選抜された32名のチェッカーが参加しました。北関東地区代表として出場したフレッセイ新保店の内田亜衣が第2位となり、最優秀賞を受賞しました。



授賞式

外国籍社員の活躍

アクシアル リテイリングでは従業員の採用にあたり、国籍や出身地、出身校、性別に関係なく、その人の持っている能力や人柄で採否を決めており、現在グループ全体で8名の外国籍社員がレギュラー社員として働いています。



住居バイヤーとして活躍する 張 文甲

従業員の声

より広い視野で

留学生の時、近くに原信があり、とても便利でした。また、いつも元気に働いている従業員の姿を目にしているうちに、自分も地域のお客様の生活を支えていきたいと思い、原信に就職しました。

異文化出身であるため、様々な考え方・立場を理解でき、物事を多角的に見ることができます。また、中国出身であることを生かした調理提案ができます。

これからも初心を忘れずに、さまざまな困難にも立ち向かっていきたいです。



原信 花園店
青果部門
ゼン
再
敏

シニア人材の活躍

原信とナルスでは、定年後再雇用の限度年齢を70歳に引上げ、健康で働き続けられるように環境を整えています。また、アルバイトの再雇用限度年齢を75歳とし、働く意欲のある方が活躍できる場となっています。

メンタルヘルプライン

原信とナルスでは、2018年度より、従業員が心や体に不調を感じ、「つらい気持ちを聞いて欲しい」「誰に相談したらいいかわからない」と言った時の相談窓口として「メンタルヘルプライン」を設置しました。

担当者が話を伺い、カウンセラーへの相談や医療機関などの受診を含め、解決の方法を一緒に考えます。

通報相談窓口、ヘルプライン

アクシアル リテイリングでは通報・相談窓口を設け、不正違法行為、すべてのハラスメント行為などの連絡、相談を受け付け、問題の解決と職場環境の改善に取り組んでいます。

事業活動の環境負荷

インプット

燃料
(石油類)



重油 41kℓ
灯油 78kℓ
軽油 3,194kℓ
(配送車輛、自家発電)

電 気



193,147MWh
電力会社から購入し、
使用した電力の総量

紙



21t
本部で使用したコピー
用紙、コンピュータ用紙
の総量

水



828千³

ガ ス



472千³

- 節水バルブ内蔵の便器
- 節水自動水栓の手洗い器
- オストメイト対応のトイレ
- 紙タオルからジェットタオルへ
変更してゴミの削減
- 授乳室の設置

- 揚げ物の油は酸化度をチェックして交換
- 廃食用油は100%リサイクル

- フロン類は100%回収し破壊処理

- ノンフロン(自然冷媒)を使用した
ショーケースの導入(詳細はP30)

- ショーケース照明のLED化
- 高さの低いショーケース

- バラ売りの惣菜
を入れる容器は
軽量の袋を設置

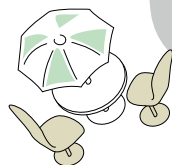
- 車イスの設置

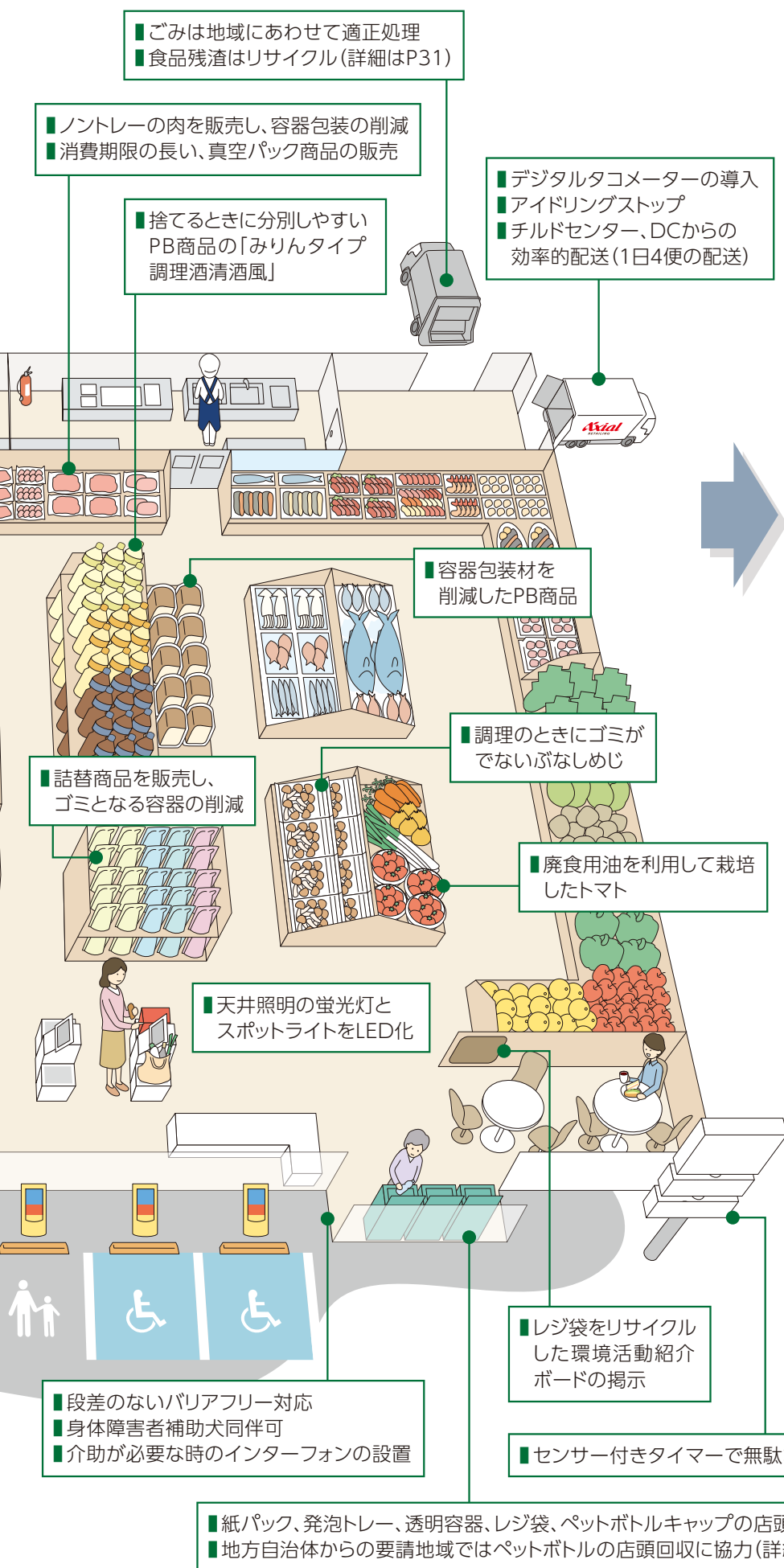
- レジ袋のリユース(詳細はP27)

- 省エネ型自動
販売機の設置

- AEDの設置

- 車イス、お子様連れ、妊婦
の方専用の駐車場





アウトプット

排水



828千³

CO₂



102,340t

電気、ガス、燃料の使用に伴って発生した二酸化炭素の総量

産業廃棄物



2,228t

再資源化率
72.4%

事業活動によって生じた廃棄物のうち「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で定められた廃棄物

	総排出量(t)	リサイクル(t)
廃油	426	426
発泡スチロール	408	408
グリーストラップ汚泥	821	223
その他産業廃棄物	573	555
合計	2,228	1,612

一般廃棄物



23,122t

再資源化率
73.1%

紙くず、段ボール、厨芥物など、事業活動によって生じた廃棄物のうち、産業廃棄物を除く廃棄物

	総排出量(t)	リサイクル(t)
生ゴミ	5,244	3,350
紙くず	4,198	63
不燃物	200	0
ビン	24	24
段ボール	12,940	12,940
アルミ・スチール缶 ペットボトル	516	516
合計	23,122	16,893

リサイクル回収量(t)

レジ袋	16
発泡トレイ	229
透明容器	392
紙パック	322
ペットボトル	247
ペットボトルキャップ	79

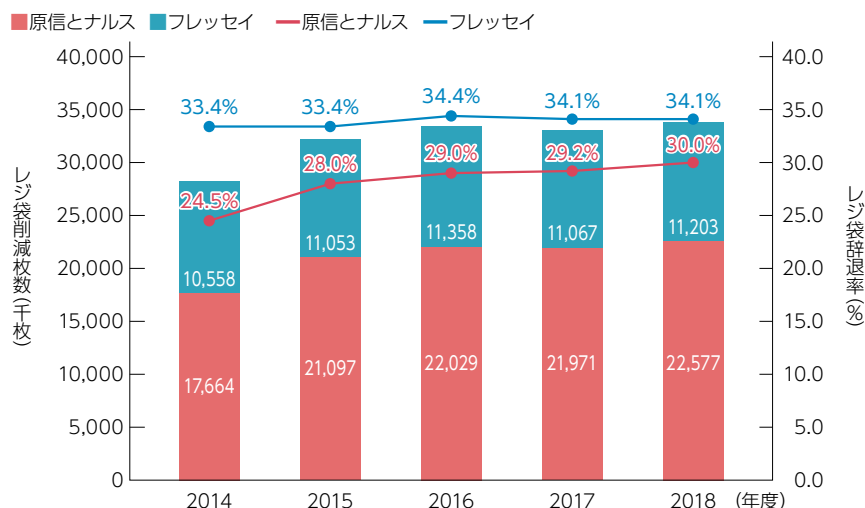
レジ袋の3R

リデュース

Reduce (発生抑制)

アクシアル リテイリングでは、お買い上げ量に適したレジ袋の使用に努めています。原信とナルスでは、レジ担当者が商品を袋詰めすることで必要以上にレジ袋をお渡ししないようにしています。

レジ袋削減枚数とレジ袋辞退率推移

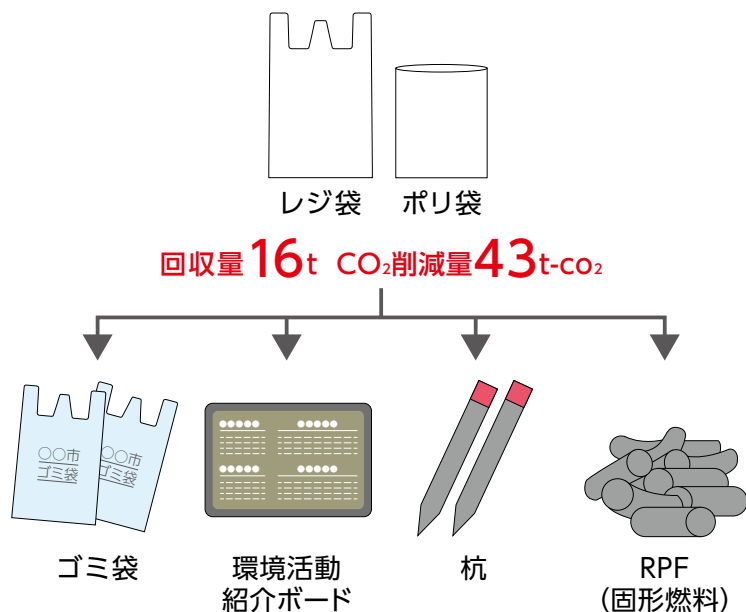
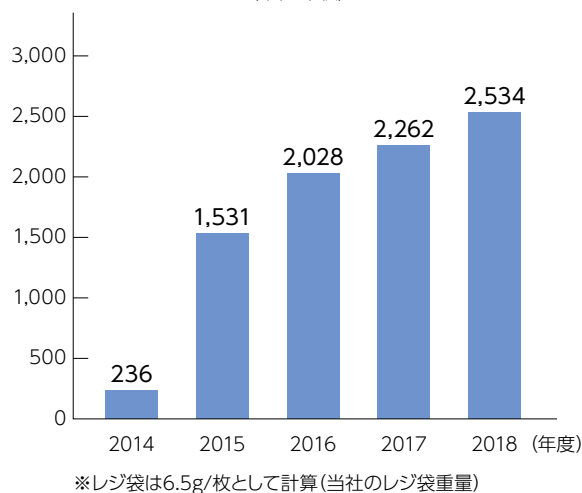


リサイクル

Recycle (再資源化)

不要となったレジ袋は、原信とナルスの店頭にて回収し、リサイクルをしています。回収するものは当社だけでなく、他社様のものもリサイクルをしています。またレジ袋と一緒に、小さなポリ袋を回収しリサイクルをしています。

レジ袋リサイクル枚数 (単位:千枚)



リユース Reuse(再使用)

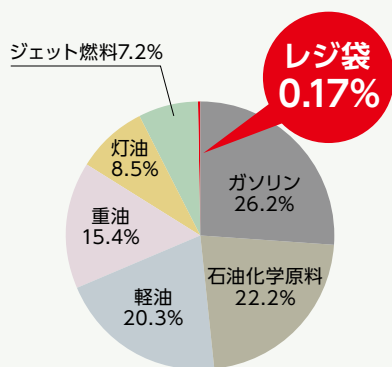
アクシアル リテイリングでは、お客様にレジ袋の再使用をお願いしています。一度お使いいただいたレジ袋をマイバッグ代わりに使っていただく『リユース! レジ袋』の推進や、レジ袋の素材を透明にすることで、自治体のゴミ袋としてご利用いただけるようにしています。



2回使えば50%のレジ袋削減になります。

ご存知ですか？

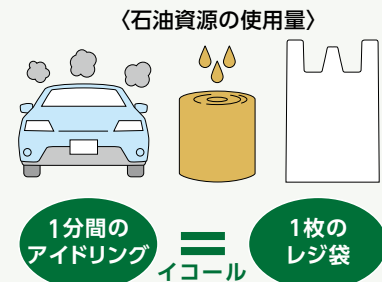
- 1** 石油製品のうち、レジ袋に使用されている石油は、全体のわずか**0.17%**です。



日本における石油製品需要量
20,771万klの内訳(2017年度)

※レジ袋は6.5g(当社レジ袋重量)、年間300億枚消費されていると仮定して試算。
【出典】経済産業省「資源・エネルギー統計」

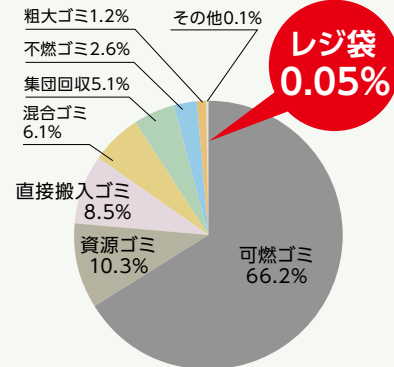
- 2** アイドリングを1分間止めることは、1枚分のレジ袋削減と同じ効果が見込めます。



1分間のアイドリングストップで12mlの石油資源が削減できます。

※アイドリングストップによる削減効果は2000ccガソリン車での試算(出典:省エネルギーセンター)。レジ袋による削減効果はレジ袋重量を6.5g(当社レジ袋重量)として試算
【出典】日本ポリオレフィンフィルム工業組合

- 3** 再利用されずに捨てられるレジ袋は、家庭ゴミのうち**0.05%**です。



家庭ゴミ4,289万tの内訳
(2017年度)

※レジ袋は6.5g(当社レジ袋重量)、年間36億枚廃棄されているとして試算(当社の再利用率調査に基づき、年間消費300億枚のうち88%が再利用されていると仮定)。
【出典】環境省「日本の廃棄物処理」

- 4** プラスチック原材料販売実績に占めるレジ袋の割合は**0.97%**です。

日本における2017年プラスチック原材料販売実績



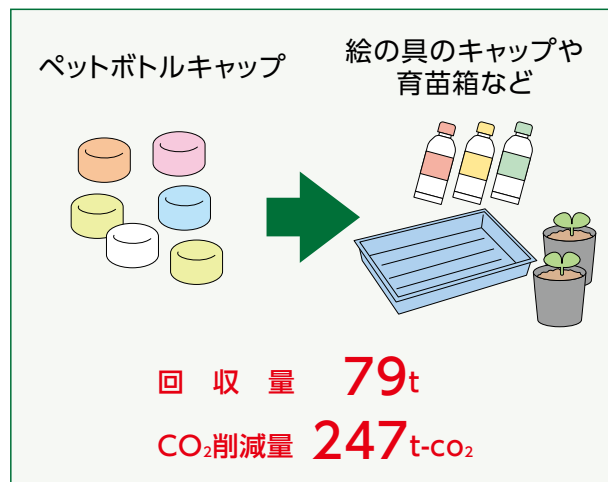
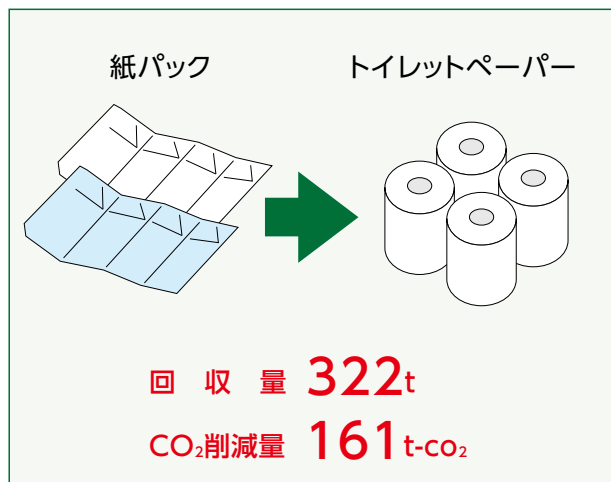
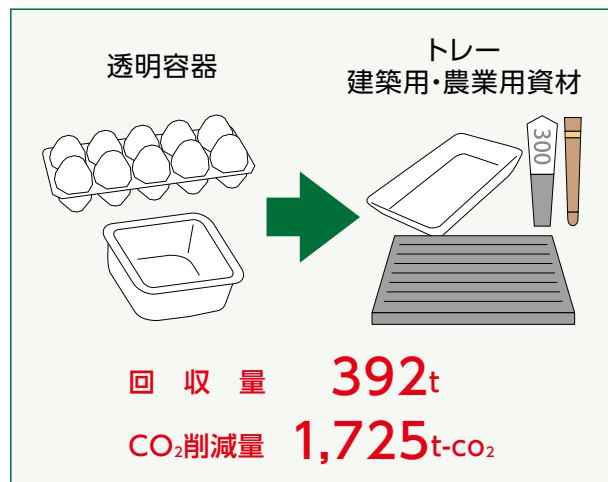
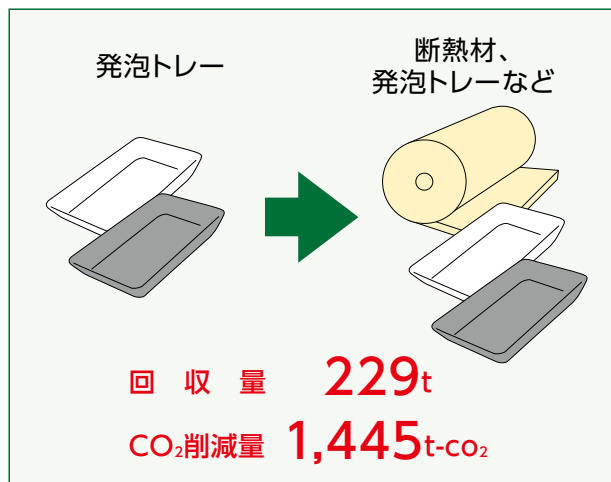
出典: 日本プラスチック工業連盟 統計資料「プラスチック原材料販売実績」

なおレジ袋の生産量は、高密度ポリエチレンのうちフィルムになるものの割合22.8%(石油化学工業協会「汎用5大樹脂の用途別出荷内訳(2016年)」より)、このうちレジ袋になるものの割合49.7%(日本ポリオレフィンフィルム工業組合「ポリオレフィンフィルムの年別出荷状況(2016年)」より)であることを基に、2017年もこれらが同じ割合と仮定した上で2017年の高密度ポリエチレンの販売量887,272tより算出。

資源店頭回収とリサイクル



アクシアル リテイリングでは、お客様とともに資源のリサイクル活動を進めています。店頭回収ボックスを設置し、資源の回収をすることで持続可能な社会の実現に貢献していきます。



皆様のご協力により、杉の木CO₂吸収量で
90,643本分のCO₂が削減できました。

※CO₂削減量は環境省「3R行動見える化ツール」より算出。なおペットボトルキャップは1kgあたりのCO₂削減量を3.15kg-CO₂として算出。
CO₂排出量の杉の木換算は、1本あたり1年間に平均して14kgのCO₂を吸収・固定するとして算出。(出典：林野庁)

原信とナルスの資源店頭回収とリサイクルについてはWEBをご覧ください。
<http://www.hnhd.co.jp/csr/eco-recycle-2/>



フレッセイの資源店頭回収とリサイクルについてはWEBをご覧ください。
<http://www.fressay.co.jp/csr/recycle.html>



低炭素社会への対応



ノンフロン機器の導入

温室効果ガス削減による環境負荷低減と消費電力削減による省エネ効果から、炭化水素冷媒（R290、プロパン冷媒）のショーケース導入を進めています。

2018年度は新たに3店舗に導入をいたしました。今後予想される冷媒規制強化を踏まえ、新規・改装店舗だけでなく既存店舗でも設置を進めていきます。



ノンフロンショーケース

環境負荷を低減した店舗設計

原信とナルスの店舗はCASBEE※で、Aランク（大変良い）の評価を取得しています。評価は、省エネや省資源・リサイクル性能といった環境負荷低減だけでなく、室内の快適性や景観への配慮も含め総合的に行われます。

※CASBEE（建築環境総合性能評価システム）：建築物の環境性能で評価し格付けする手法。

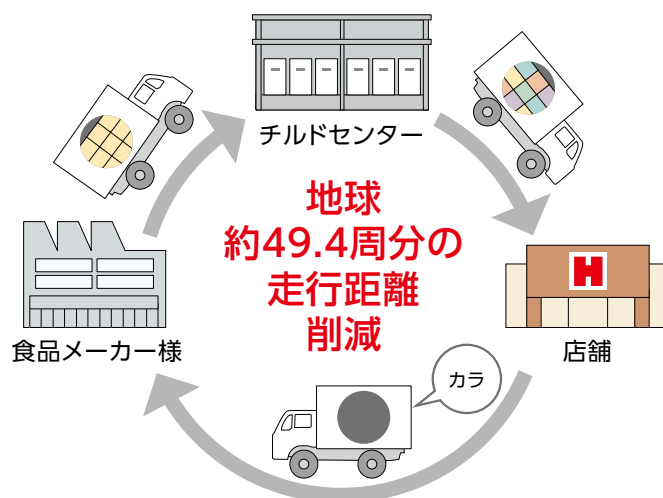


憩いのスペース

物流の効率化

商品の調達にあたっては、物流網全体でエネルギーの削減に取り組んでいます。

店舗の商品を配送した帰り便が、その店舗近隣のお取引先様工場に向かい、商品を積み込み、当社チルドセンターに配送しています。これにより、工場から商品を積み込むためだけに配送便を走らせる必要がなくなり、配送車両燃料の削減につながっています。



関連会社の取り組み

廃棄物から有価物への転換

株式会社 原興産【清掃・リサイクル、保険契約に係る保険代理店】 力丸流通サービス株式会社【清掃・リサイクル】

原興産、力丸流通サービスでは各部門で使用された発泡スチロール箱を破碎・減容し再資源化を行っています。なお原興産では店舗で回収された発泡トレーのリサイクルもしています。

処理は各センターに設置された発泡減容機で行っていますが、大気汚染防止のため電熱ヒーターによる高温溶解処理をしています。

処理量が年々増加していることから、上越チルドセンターでは減容機を1台増設しました。今後とも、リサイクルを通じて循環型社会の構築に貢献できるように努力してまいります。



発泡減容機

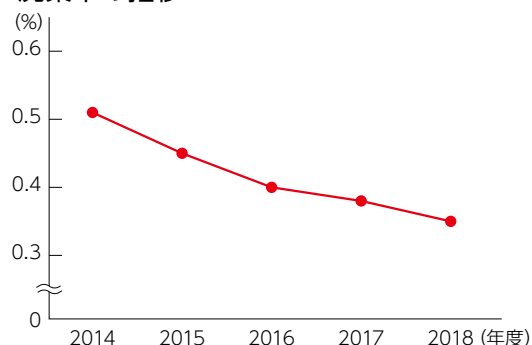
廃棄物の削減

食品廃棄物の発生抑制

アクシアル リテイリングでは、データを基にした商品製造数量や発注数量の調整、研修による商品作りの技術向上などを通じて日々食品廃棄物の発生抑制に努めています。

原信とナルスでは、環境マネジメントシステムの環境目標に廃棄率(売上金額に対する廃棄商品金額の率)を掲げ取り組んでいます。その結果、2018年度は廃棄率を0.35%に低減することができました。

廃棄率の推移



恵方巻の廃棄ロス削減

廃棄された大量の恵方巻がメディアで話題となりましたが、アクシアル リテイリングでは、前年実績による計画精度の向上の他にも次のような取り組みにより、廃棄ロスを削減しています。

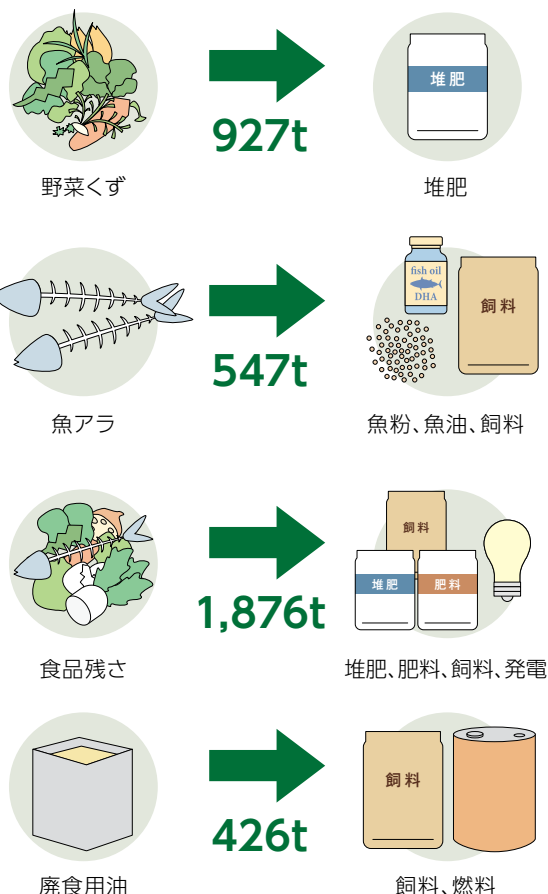
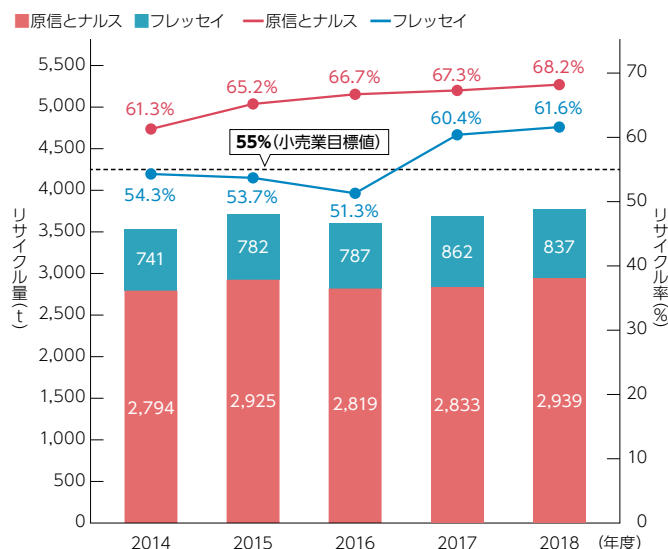
当社の恵方巻は食品製造工場で製造するのではなく、1本1本各店舗での手作りであり、販売数を確認しながら製造調整を行っています。また店舗が集中している利点を活かし、販売数と製造数に乖離が出た場合、店舗間で商品を移動することで廃棄の削減に努めています。

食品廃棄物のリサイクル

発生した食品廃棄物は可能な限りリサイクルをしています。2018年度は新たに原信7店舗で魚アラのリサイクルを開始しました。

今後もアクシアル リテイリング各社が毎年1%以上、リサイクル率を向上できるよう、情報を共有しながら取り組みを推進していきます。

食品廃棄物(廃食用油含む)のリサイクル量および率



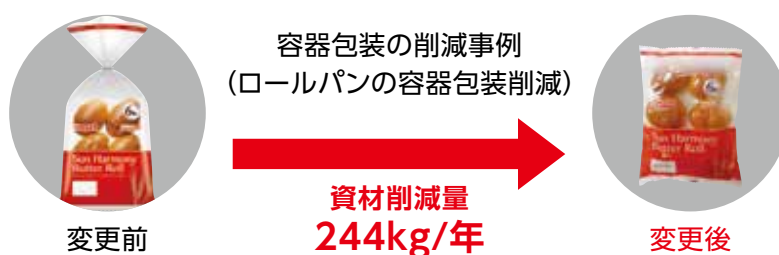


容器包装のプラスチック削減

プラスチック製の容器包装は、商品の基本的特性をそのままに、安全で衛生的にお客様のもとに商品をお届けできる利点から、私たちにとって身近なものです。一方で昨今、海洋プラスチック汚染などの環境問題がクローズアップされ、容器包装プラスチックの使用についての関心が高まっています。

アクシアル リテイリングでは、プラスチックの利便性を理解したうえで、現状の容器包装プラスチックに過剰な使用がないかを、長年に渡り見直しをしてきました。その結果、より軽量なものや環境に配慮したものへの切り替えをすすめています。

今後も引き続き取り組みを進めるとともに、ワンウェイプラスチックの削減にも取り組んでまいります。



関連会社の取り組み

環境保護印刷 高速印刷株式会社 [チラシ印刷他、テレビCMの企画制作]

高速印刷は、環境保護印刷推進協議会が定める認証ステータス登録基準の最高クラスである「クリオネゴールドプラス」を取得しております。この認証は、刷版から印刷の工程でインキや洗浄液などから発生する揮発性有機溶剤(VOC)、刷版の処理廃液などの水質に重点を絞り、「Non-VOC」「ノンドレイン」を目指しています。

2008年に取得して以来、環境に配慮した資機材を積極的採用し、継続的に環境負荷低減に取り組んでおります。



環境保護印刷認定証

環境保全活動に対する投資、費用とその効果を把握して、環境保全活動の効率化に努めています。コスト集計及び効果の把握方法は環境省「環境会計ガイドライン2005版」を参考にして作成しました。

■環境保全コスト

(単位:千円)

分 類		主な取り組みの内容	2017年度		2018年度	
			投資額	費用額	投資額	費用額
(1)事業エリア内コスト		—	117,745	390,678	267,038	367,321
内 訳	(1)ー1公害防止コスト	ばい煙・地下タンク・浄化槽検査費 グリーストラップ等設備導入費 グリーストラップ清掃費、浄化槽維持費など	117,745	83,946	211,034	83,946
	(1)ー2地球環境保全コスト	LED照明工事など	—	45,468	56,004	51,784
	(1)ー3資源循環コスト	廃棄物処理費、生ゴミリサイクル費など	—	261,264	—	231,591
(2)上・下流コスト		容器包装リサイクル法再商品化委託料、レジ袋不使用2円引き費用	—	83,602	—	94,089
(3)管理活動コスト		ISO審査費用、環境教育、EMS各種勉強会、新店の緑地など	7,646	46,062	7,042	31,731
(4)研究開発コスト		—	—	—	—	—
(5)社会活動コスト		各種組合費など	—	170	—	170
(6)環境損傷対応コスト		—	—	—	—	—
合 計		—	125,391	520,512	274,080	493,311

※対象企業：原信、ナルス

※減価償却費については2000年以降に実施した原信の設備投資について集計しており、ナルスでは集計していません。

■環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2017年度	2018年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	電力使用量(MWh)	188,485	193,147
	ガス使用量(千m ³)	539	472
	重油使用量(kℓ)	38	41
	灯油使用量(kℓ)	175	78
	軽油使用量(kℓ)	3,114	3,194
	水使用量(千m ³)	818	828
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	110,158	102,340
	廃棄物総排出量(t)	25,298	25,350
	廃棄物最終処分量(t)	6,647	6,845
	排水量(千m ³)	818	828
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	レジ袋回収量(t)	15	16
	紙パック回収量(t)	335	322
	発泡トレイ回収量(t)	222	229
	透明容器回収量(t)	360	392
	ペットボトルキャップ回収量(t)	74	79
	ペットボトル回収量(t)	251	247

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

■環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容		2017年度	2018年度
収 益	リサイクル品売却益	36,761	43,329
	店頭回収品売却益	7,326	7,466
費 用 節 減	店頭回収による容リ法再商品化委託料の節減	17,605	19,699
	ショッピングバッグ持参によるレジ袋費の節減	61,437	62,846
合 計	—	123,129	133,340

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

〈アクシアル リテイリングのあゆみ〉

年	原信	ナルス	フレッシュイ
	創業：1907年(明治40) 原信吾が原蜷燭(ろうそく)店を長岡市で開業。西洋ろうそくを扱う。家の明かりを灯すろうそくを一品一品でいねいに、大切につくりあげる。戦後はせとものを取り扱い、バラエティストアへと転身。いつの時代もお客様の生活に必要なものに対応し、変化し続けてきた。	創業：1948年(昭和23) 成澤芳雄がこんにやく・豆腐製造の成沢商店を直江津市で開業。「為せば成る」の心をもとに、「主婦の店」、その後「主婦の店ナルス」としてスーパーマーケットを運営。	創業：1850年(嘉永3) 植木文左衛門が海のない地域の方々においしい魚を提供したいという想いから、鮮魚塩干物の卸小売業「松葉屋」として創業。
1950			(株)松清本店設立
1958			スーパーマーケット創業
1959			
1967	(株)原信 設立 (スーパーマーケット創業)		
1974			CGCグループ加盟
1979	CGCグループ加盟	商号を(株)ナルスに変更	
1983	TQC導入		
1988	新潟証券取引所に上場		
1990		新・ロゴマークの採用	
1991	原信・福屋・こたやの3社合併、新生原信誕生 TQCを軸としたHTS活動開始 「原信サマースカラシップ」スタート		
1992			商号を(株)フレッシュイに変更
1996	中之島物流センター開設	ナルス ロゴマーク (1990年～)	
1997	新・ロゴマークの採用 長期ビジョン「2010 VISION」策定		フレッシュイ ロゴマーク (1992年～)
1999	レジでの袋詰めサービス開始		フィック FIC活動(フレッシュイ改善活動)キックオフ
2000	東京証券取引所2部に株式上場 環境マネジメントシステムISO14001認証取得		
2001	ニューコンセプト導入 (簡単便利+もっと豊かにをコンセプトとした店舗づくり)		フレッシュイポイントカード全店導入
2003	はらしんカード(クレジットカード)取り扱いスタート	ナルスカード導入	フレッシュイカスタマーカード導入
2004	7・13水害(2店舗浸水) 中越地震発生(44店舗中22店舗被災、3店舗閉鎖)		アップグレード型業態 出店
2005			障害者雇用優良企業 厚生労働大臣賞受賞
2006	HTSをTQMIに名称変更(ナルスTQM活動スタート) 株式会社ナルスと経営統合 原信ナルスホールディングス株式会社を設立		アップグレード型業態 として初出店した 「クラシード若宮」店内
2007	東京証券取引所1部に指定替え 第1回原信ナルス会開催 中越沖地震発生(7店舗被災)		
2008	ナルス ISO14001認証取得(適用範囲の拡大) 上越物流センター開設		キャリア教育文部科学大臣賞受賞
2009	長期ビジョン「Advanced Regional Chain」策定		
2010	ニューコンセプトⅡ(NCⅡ)スタート (毎日の食生活を豊かに楽しくする提案のできるスーパーマーケットづくり)		
2011	東日本大震災発生 (PB商品1個につき1円を被災地に寄付する『まごころの1円プログラム』) 原信ネットスーパースタート 新潟県優良リサイクル事業所表彰受賞		株式会社フレッシュイホールディングス設立
2012	川崎店グロスアリー部門「抹茶ラテテサークル」が QCサークル石川馨賞を初受賞		ミツ MITHS活動(QCサークル)スタート 移動販売車「フレッシュイ便」介護施設や団地 巡回開始
2013	株式会社フレッシュイホールディングスと経営統合し、アクシアル リテイリング株式会社を設立 3R推進功労者等表彰会長賞受賞 原信ナルス中之島DC開設		TQM活動スタート
2015	紺綬褒章受章 (関東甲信地区大雪災害における群馬県への義援金寄付により) ニューコンセプトⅡ+(NCⅡ+)スタート		
2016	株式会社格付投資情報センターより格付け及び方向性 A-(安定的)に格上げ		前橋物流センター開設
2017	原信 スーパーマーケット創業50周年		群馬県食育推進活動優良企業表彰受賞
2018	代表取締役社長原和彦がQCサークル経営者賞を受賞 ローリー中ノ島プロセスセンター開設		フレッシュイ スーパーマーケット創業60周年
2019	ナルス スーパーマーケット創業60周年		



植物油インキマークは植物油
を使用した印刷インキに表示
できるマークです。

アクシアル リテイリング株式会社

新潟県長岡市中興野18番地2 〒954-0193
Tel.(0258)66-6711 Fax.(0258)66-6727
<https://www.axial-r.com/>

【対象期間】2018年度(2018年4月～2019年3月)※ 【対象範囲】アクシアル リテイリンググループ企業 【発行日】2019年6月
【参考ガイドライン】GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード2016、環境省「環境報告書ガイドライン(2012版)」
【お問い合わせ先】原信ナルスオペレーションサービス株式会社 TQMCSR部 環境CSR室
【TEL】0258-66-8650 【FAX】0258-66-8663 【URL】<https://www.axial-r.com/contact/>

※一部に対象年度以外のものを含む場合があります。